

第10回日中定期協議報告



2 CICPAとの意見交換会

まず初めに、森会長より日中の両会計士協会による意見交換会が再開されたことを歓迎する旨、また、現在、安倍政権下で進められている成長戦略に則り、コーポレートガバナンスの強化、IFRSの任意適用の促進、魅力あるプロフェッションの創設、公会計分野等における貢献等を更に進めていくための施策について様々な角度から検討を進めていること等についての説明と挨拶があり、引き続き冯淑萍会長より、中国が会計プロフェッションの強化のために取り組んでいる事項等について以下の事項を中心とした説明があった。

① 会計専門家の人材育成

中国では現在、会計業務に従事する者が約35万人、うち、CPA資格保持者は約19万人、さらに、CPA資格保持者で会計・監査業務に従事している者は約10万人で、CPA資格保持者の残りの9万人は企業や政府等で働く組織内会計士とのことであった。CPAの男女比はおおよそ均衡しており、CPA全体に占める女性の割合は50%程度を占めている。CPAの社会的地位は年々向上しており、例えば、

1 はじめに

2015年5月22日に、中国注册会计师協会（CICPA）と日本公認会計士協会（JICPA）による第10回日中定期協議が北京のCICPAにて開催された。本定期協議は、日本と中国を相互に訪問して情報の交換を行うとともに、日中両国の友好・協力関係を拡大することを主な目的としており、前回は2011年12月に北京で開催されている。日中定期協議は、その後の情勢の変化等を受け、2011年以降一時中断していたが、CICPAの新会長の選任の機会をとらえ、今回、再開が実現したものである。

今回は、中国側から、冯淑萍（Feng Shu Ping）会長・中国財政部

会計司会計準則委員会委員・中国共産党全国人民代表大会の常務委員、陈毓圭（Chen Yugui）副会長兼秘書長、杨晨辉（Yang Chenhui）副秘書長、常志安（Chang Zhi'an）執務室主任、梁晶（Liang Jing）国際部主任、及び金瑶（Jin Yao）国際部スタッフの合計6名が参加し、日本側は、森 公高会長、関根愛子副会長、海野 正専務理事、染葉真史常務理事及び筆者らが参加した。

なお、今回の日中定期協議に合わせて、中央財経大学及び北京国家会計学院並びに信永中和会計師事務所へも訪問し、両教育機関においては会計士の育成、教育制度、その課題について等、信永中和会計師事務所においては会計事務所の運営等に関する諸課題について、意見交換を実施した。

政府の財政や財務管理の透明性にCPAが果たすことのできる役割に対する期待がますます高まっていることから、CPAの更なる育成が求められている。

② CPAに対する期待の拡大とCICPAの機能強化

経済の急激な拡大とその後の減速傾向を受け、現在、中国では社会経済構造の再調整が進み大きな転換点を迎えている。このような中で、社会経済を支え、その資源を有効に活用していくためにCPAへの注目も高まっており、CICPAに対してもいかにその監督機能を有効に機能させ、正しい情報を発信することで社会に貢献していくかについて高い責任が求められるようになってきている。また中国では、国家経済の重要な要素を形成する国営企業・公共団体等は、CPAによる監査を受ける必要があるとされていることから、特にこの分野でのCPAの活躍への期待が高まっている。

上述のほか、中国共産党の全国人民代表大会の常務委員や中国財政部の役職等を長年務めてこられてきた冯淑萍会長のご経歴から、日本と中国のマクロ経済全般についての意見交換も行われ、例えば、日本が1990年以降経済低迷に陥った原因についての評価、現在の経済成長分野に関する考察、政府債務の問題、財政再建に向けた施策等についても活発な協議が行われた。冯淑萍会長からは、日本と中国が共通して抱える社会経済上の問題は多く、これらが会計専門家に示唆する課題も共通のものが多いため、互いの経験や教訓を共有する機会を引き続き設けていくことは意義深い旨の発言があった。

JICPAからは、日本の公認会計士制度の概要についての説明のほか、最近の主な活動・課題として、コーポレートガバナンスの強化、監査の品質の向上と自主規制機能の強化、IFRSの任意適用企業の拡大促進及び公的分野・非営利分野における取り組みについての紹介が行われた。

3 おわりに

今回の定期協議では、日中両国のCPAプロフェッションには共有の諸課題が多くある点が認識され、日中双方から情報交換や相互交流が今後も継続することを期待する声が多くあった。中国におけるCPAプロフェッションの動向については、それが国際的に与える影響も大きいと思われることから、今後も定期的な情報交換や交流の場を設けることが確認された。

(事務局 石井和敏、渡場友絵)